生物多様性がへる5つの原因

世界の科学者が集まるIPBES（イプベス）は、生き物の種類や数がへる
おもな原因を5つにまとめました。えいきょうが大きいとされる順にならんでいます。

名前＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿月＿＿日

1 陸と海の利用の変化
森を切りひらいたり海をうめ立てたりして、生き物のすむ場所がへること。
例　ケツァールがすむ森は、畑や牧場にかえられてへっています。

2 生き物のとりすぎ
食べ物やペットにするため、生き物をふえるより速くとってしまうこと。
例　ナポレオンフィッシュは、高級な食べ物としてとられすぎて数がへりました。

3 気候変動
地球の気温や海の水温が上がり、生き物がくらしにくくなること。
例　海の水温が上がると、サンゴが白くなり（白化）、魚のすみかがへります。

4 汚染
プラスチックごみや薬、よごれた水などが、川や海、土をよごすこと。
例　海に流れたプラスチックを、生き物がえさとまちがえて食べてしまいます。

5 外来種の広がり
人が運んできた生き物が、もとの生き物のすみかや食べ物をうばうこと。
例　アライグマやオオクチバスが、日本の生き物を食べています。

①　つぎのできごとは、どの原因にあたるかな？　番号を書こう

(1) ペットボトルが海に流れつく。＿＿
(2) 山をけずって道路をつくる。＿＿
(3) 外国から来た魚が池の魚を食べる。＿＿
(4) 海の水温が毎年上がっている。＿＿
(5) 売るために野生のカエルをとりすぎる。＿＿
(6) 海をうめ立てて工場をつくる。＿＿

答え：(1) 4　(2) 1　(3) 5　(4) 3　(5) 2　(6) 1

②　5つの中から1つえらんで、自分にできることを書こう

出典：IPBES「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書」（2019年）・「ネクサス評価」（2024年）、環境省「環境白書」



Earth Saverでは、自然を学ぶ英会話やイベントが盛りだくさん！
QRコードからEarth Saver認定に登録しよう！
保護者の方へ：Earth Saver認定のお申しこみは、右のQRコード（latair.jp/form）から。
登録はこちら